



父はよく母の枕辺に
腰を下ろして何か話していた。
野の花が好きだった母に父は
どこからか小さな花を
もって来てうれしそうに
見せていたこともある。

(六女・金子梅子「父母の思い出」)

これまであまり注目されてこなかった、
世界的哲学者の人生の同伴者・寿美。
その生涯と家族のエピソードを紹介します。

企画展

枕辺の野花
西田幾多郎の妻

ことみ
寿美



令和3年 3/23(火) ~ 9/26(日)

※新型コロナウイルス感染症対策のため、
会場ではマスクの着用、手指の消毒、
検温にご協力をお願いいたします。

企画展関連イベント

講演会 「幾多郎とかほくの女性たち」

一寅三(母)、寿美(妻)、高橋剛(妹)・ふみ(姪)
幾多郎をとりまく、かほく市出身の女性たちを紹介します。

【とき】 4/24(土) 13:30~15:00

【ところ】 哲学館ホール 【要申込/参加費無料】

【講師】 哲学館館長 浅見 洋

青空講座 「幾多郎の短歌と植物」

一 数多くの短歌を残した幾多郎。短歌にちなんだ植物の前で、
幾多郎が詠んだ歌やその背景を紹介します。

【とき】 5/20(土) ※幾多郎と寿美の結婚記念日 13:30~14:30
8/3(土) ※寿美の納骨にふるさとを訪れた日 16:00~17:00

【ところ】 哲学の杜 【雨天中止/定員各20名/要申込、先着順】
【協力】 幾多郎の歌の風景を楽しむ会 (各1ヶ月前から受付)/参加費無料

会期中 2F・喫茶テオリアにて

レアチーズケーキいちじくジャム添え
..... 350円

亡くなった寿美の納骨のため
久しぶりに訪れたふるさとで、
幾多郎が詠んだいちじくの短歌。
これにちなんだ特別スイーツです。



石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角井1
TEL (076) 283-6600 FAX (076) 283-6320
URL <http://www.nishidatetsugakukan.org/>
E-mail nishida-museum@city.kahoku.lg.jp



facebook でもイベント関連情報を随時更新しています。

開館時間 ■ 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 ■ 月曜日(祝日の場合は翌平日)、メンテナンス期間
観覧料 ■ 一般300円(団体250円:20名以上) / 高齢者(65歳以上)200円
■ 高校生以下無料

交通アクセス
【車利用】 北陸自動車道 [金沢東IC]-国道159号線(約20分)
のり山海道 [白尾IC]-約5分
【JR利用】 金沢駅-IRいしかわ鉄道線・七尾線(約25分)-宇野駅-
徒歩(約20分)-哲学館



企画展

枕辺の野花 西田幾多郎の妻

ことみ 寿美

令和3年 3/23(火) ~ 9/26(日)

幾多郎と妻の寿美はいとこ同士で、仲の良い幼馴染でした。画家を父にもつ寿美は着物の見立てもよく、裁縫や料理、国文学の本を読むことが好きでした。師範学校を卒業し小学校教師(幼稚園保母)をしていた頃もあります。幾多郎と結婚してからは、貧しさ、子どもの病や死など、次々と苦労が続きます。親族間の金銭問題で家出し、激怒した義父より幾多郎と離縁させられたことも。しかし寿美は不平も言わず、子どもを育て、家を守り、常に献身的に幾多郎の学究生活を支えました。

寿美は44才のとき脳溢血で倒れ、会話はできるものの体を動かすことができなくなります。以後寝たきりの状態となりますが、幾多郎にとってよき話し相手であることは変わりませんでした。幾多郎は野の花が好きだった寿美に花を摘んできては、古ぼけた源氏物語とともに枕辺に置いていました。49歳で寿美が亡くなり、幾多郎はこんな言葉を残しています。

今は我家といふ如きものが消え失せて遠き国に
さまよふ旅人の様な心持ちがいたします

去年の秋 窓際植えし紅椿

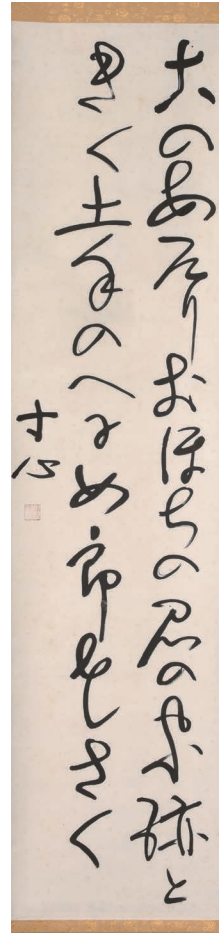
咲きか散らむ見る人なしに*

これまであまり注目されてこなかった、世界的哲学者の人生の同伴者・寿美。その生涯と家族のエピソードを紹介します。

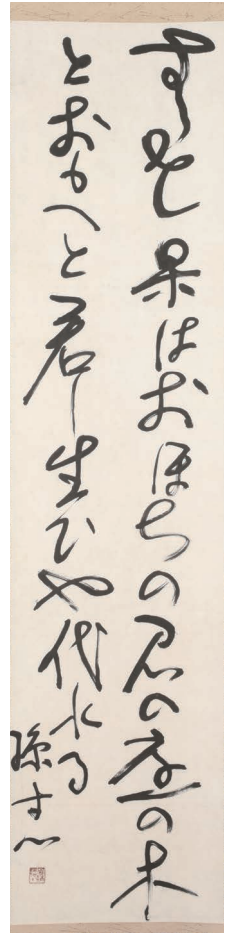
*大正14.1.28 幾多郎が田辺元、久松真一に宛てた書簡。
第二・三句「窓際近く植えし花」であったが同日の日記で書き換え。



四十年ぶりにて吾をいつくしみ給ひし外祖父母の村を過りて
亡くなった寿美の納骨のため、久しぶりにふるさとを訪れた幾多郎。母の実家である祖父の家(林家)があった場所を通った際に詠んだ短歌です。そこは、いとこ同士であった祖父の祖母の家でもありました。

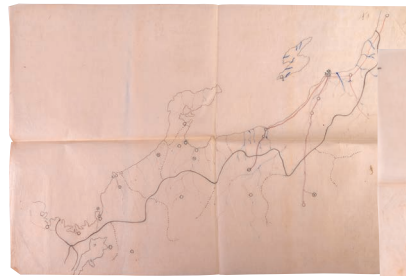


「このあたりおほちの君の家跡ときく土手のへに女郎花さく 寸心」

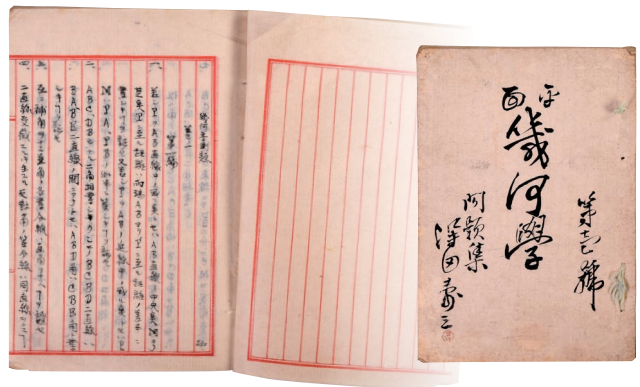


「無花果はおほちの君の庭の木とおもへど若し生ひや代れる 孫寸心」

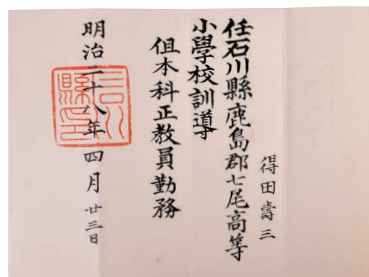
西田幾多郎書



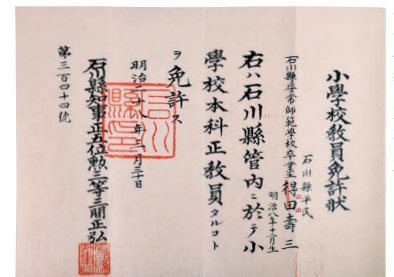
寿美製図「北陸道地図」



寿美直筆「平面幾何学問題集」



辞令「七尾高等小學校訓導」



小學校教員免許状